

数学

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
数学	数学B	2	3年次・I2群	選択

目 標	履修の条件・連絡
平面上のベクトル、空間ベクトル、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・数学 I を履修していること。 ・理系進学者に適している。

使用教科書 (出版社)	改訂版 最新 数学B (数研出版)	副教材 (準備物)	改訂版 Study-Up ノート 数学B (数研出版)
----------------	----------------------	--------------	--------------------------------

学年	学期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい
			1	4月
5月	(ベクトルと平面図形)			
6月	第2章 空間のベクトル			
7月				
2	9月	第3章 数列 (数列とその和)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な数列とその和および漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	
10月				
11月	(漸化式と数学的帰納法)			
12月				
3	1月	ベクトルと数列のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトル・数列のまとめと、その演習を行い、応用力を養う。(1月まで) 	
2月				
3月				

学習評価	観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	規 準	ベクトル、数列に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	ベクトル、数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。いろいろな方法(別解)で解くことができる。	ベクトル、数列における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 定理、公式、記号などが理解できている。
	手 段	・ノート ・授業態度	・定期考査	・定期考査	・定期考査 ・課題
	各学期や年間の学習状況の評価方法	・定期考査(年5回)、ノート、授業態度			

学習上の留意点	・数列、ベクトルともに苦手意識を持ちやすいので、真剣な態度で授業に臨むこと。
---------	--